



いじめ・いじめられの直接動機

被虐待児と親の治療(池田,1987)

治療機関への導入

弱いものいじめ
 容貌についていじめる
 強要に応じながらいじめる
 「自己本位すぎる」といっていじめる
 いたずら・遊びがエスカレートしていじめとなる
 「生意気」といっていじめる
 家庭内事情をあげつらっていじめる
 同情を引くために「いじめられる」という
 行きすぎた制裁
 「やり口がきたない」といっていじめる
 八つ当たり
 行為を批難されていじめかえす

1. 子どもの保険
 - ・医療機関への入院治療
 - ・児童相談所での一時保護(里親、施設を含む)
 - ・家庭での監督指導
2. 子どもの治療
 - ・医療的治療、リハビリテーション
 - ・精神療法
 - ・デイケアセンター
3. 親の治療(親の機能強化と危機介入)
 - ・精神療法、カウンセリング
 - ・薬物療法
 - ・親の相互援助、自助グループ(Parents Anonymous, Parents Untiedなど)
 - ・福祉的援助
 - ・緊急電話サービス(ホットライン)
 - ・親の入院治療

- ・当面は両親のみの通院で
- ・本人にも通院のことを知らせてゆく
- ・通院日の当日は、必ず一声かけて誘う
- ・カレンダーへの記入
- ・担当医の素性をきちんと知らせる
- ・病院から帰ったら、面接の内容を伝える
- ・通院するよう説得はしない
- ・くどくならないよう、まめに声をかける
- ・「通院する代わりに～」といった取引には応じない



生徒間暴力の直接動機

勢力争い
 生意気だから・目立つから
 たれこみに対する制裁
 プライドを傷つけられたから
 遊び・冗談
 「自己本位すぎる」者へ暴力を加える
 行きすぎた制裁
 強要に応じない者へ暴力を加える
 弱い者へ暴力
 特殊状況下(シンナー等)の暴力

不登校と家庭内暴力の予防と治療

家庭内暴力の特徴(江幡)
 1) 外では良い子で特に問題はなく見える。
 2) 乱暴が母だけ(父だけ)に向くなど、背景に親子関係の問題を予測しうる。
 3) 比較的勉強のできる子であることも多い。
 4) 非行的用件が外では認められない。

家庭内暴力の分類(青少年白書)
 1) 家庭内暴力のみ
 2) 家庭内暴力+不登校
 3) 家庭内暴力+不登校+非行
 4) 家庭内暴力+非行

家庭内暴力の特徴(清水)
 1) 普段はおとなしい、いい子で、近所の評判はよい。
 2) 内面と外面が豹変する。
 3) 父親よりも母親に暴力を加えることが多い。
 4) 兄弟にはあまり手をださない。家財や器物破損がひどい。
 5) ノイローゼ、精神病、不登校などを認めない。
 6) 原因は全て親子関係のひずみに還元される。

家庭内暴力の分類(全国少年補導センター)
 1) 純型: 家庭内のみで暴力をふるうのみ
 2) 不登校型: 不登校と暴力が合併したもの
 3) 混合型: 金品の持ち出し、万引き、無断外泊などが不登校、暴力に合併す
 4) 非行先行型: 暴走族加入、不良交友、恐喝などが先行
 5) 境界型: 精神病と診断しにくい、うつ病または初期分裂病の合併が疑わしい

家族歴

	祖	父	祖	母	祖	父	祖	母
職歴・学歴								
病名								
問題点								
	父 (実, 継) 生死 年令		父母の離婚		母 (実, 継) 生死 年令			
住所学歴								
職業								
病名								
問題点								
子供のしつけ方	同胞数		性格		長所		短所	
2) 同胞	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子			
年令・性別								
住所								
学歴								
問題点								
生活状況								
病気・性格								